

第8回 障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい

— 2019年1月19日(土) —

開場 12:30 開演 13:00 終了 16:00

な、なんと!

入場無料

もちろん誰でも参加可能!

問い合わせ先▶ TEL:052-892-6333

緑区障害者基幹相談支援センター

第1部 映画

15時15分まで

第2部

感想交流会

15時30分から自由参加です



広大な闇の中であっても、
私たちは自ら光を発するべきだ。
(by スタンリー・キューブリック)

字幕/音声ガイド付き

車いす席有

上映するんだ★

会場 ユメリア徳重 4F 名古屋市徳重地区会館体育室 / 名古屋市緑区元徳重一丁目401番地

ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。地下鉄「徳重駅」1番出口徒歩1分 / 市バス「地下鉄徳重」徒歩1分

2011年興行NO.1!

フランス国民3人に1人が観た。幸福な衝撃!

おなかを抱えて笑い、気づくと大粒の涙が溢れている。こんなにも愛おしい映画を見たことがあるか。



インテリでシニカルな全身不随の大富豪と、粗野で愛嬌モノの黒人青年、出会うはずのないふたりに起こった、最高の奇跡とは——?

生きるエネルギーがあふれ出し、観客を抱きしめる。笑いのツボと涙腺を同時に刺激する「最強傑作」!

映画 WELFARE 福祉

映画「フォレスト・ガンブ」(1994年公開)のセリフ「人生はチョコレート箱、開けてみるまで分からない。」生まれつき足が悪くて知能も発達も遅かった主人公の少年。その母親の生前の口癖がこれでした。

『人生、実際に生きてみないと、いつ何が起るかわからない。』というメッセージをチョコレートの箱に例えた、この言葉は多くの人に感動を与え、日本でも配給収入38億円の大ヒットとなりました。

フランスで公開するや、またたく間に映画史を塗り替える興行記録を打ち立てた映画があった。「最強のふたり」——実話をもとに描かれたこの作品は、ただ人々の温かい涙、そして湧き起こった拍手と笑顔だけで驚異的な動員を記録。その感動と熱狂は全世界へ伝播した。

事故で全身麻痺となり車いす生活を送る富豪フィリップは、介護士面接にやってくる、開口一番「不採用のサインをくれ」と切り出した堪えない黒人青年ドリスに興味を持った。そこから始まった異文化2人のセット生活。クラシックとソウル、高級スーツとスウェット、文学的な会話と下ネタ——。全てにわたり二人の世界は衝突し続けるが、やがて互いを受け入れ、とんでもなくユーモアに富んだ最強の友情が生まれ始める。その友情は周りの人々、さらには彼ら自身の運命をも変えていく。ところが——。人生はこんなにも予測不可能で、こんなにも堪堪がなく、こんなにも心が躍り、こんなにも笑えて、涙が溢れる!

驚異の大ヒット!!
各国興収1位続々
フランス 10週連続
ドイツ 9週連続
オーストリア 6週連続
スペイン、イタリア、スイス、ベルギー、ポーランド
……
各国で映画史を塗り替える記録を更新中!



UNTOUCHABLE 最強のふたり

脚本・監督 エリック・ロザン、原作 エリック・ロザン、監演 フランシス・ヴェイク、オサム・シロ
出演 フランシス・ヴェイク、ベノワ・ポルヴォール
原簿 キー・ガ、WOWOW、東映、ダイナ GAGA+
2011年7月21日(土)12時30分(シネマカラー) / 12時30分(テレビ放送) / 12時30分(衛星放送) / 12時30分(地上波)
©2011 SPLENDID / GAIMONT / TFI FILMS PRODUCTION / TFI FILMS / CHOCOLINE

使用「最強」楽曲はこちら!!
アース・ウインド&ファイアーズ
トモ・サタンバ、トニー・ロジャーズ
シューペルト、アグニ、マリヤ
モークワルト、魔法、ワイヴァルディ、西キ
シロバノ、ノクターン、ウエーバー、魔界の射手

saiky-2.gaga.ne.jp



福 祉の事や障害の事をみんなが理解しあい、共に生きる社会を目指すために、「映画」という媒体は私たちにとってとても入りやすいツールだと思います。今回の「つどい」で上映する「最強のふたり」(2012年公開)は日本で公開されたフランス映画で歴代1位の大ヒット作となっています。「映画」という娯楽媒体を通して、誰でも分かりやすく障害や福祉、たくさんの色々な人々と共に生きるということが理解できる、そんな機会になる場を目指して、**こんなつどいを企画するんだ★**

緑区自立支援連絡協議会 とは

「障害のある人もない人も共に生きる地域づくり」という共通の目的に向け、情報を共有して、具体的に共同する地域の関係者によるネットワークをめざします。2007年3月の発足以来、参加団体を順次増やしなが、団体間の情報交換の他、専門部会を設けて、支援の在り方についての検討会や交流、障害者施設の緑区の地域課題の整理等に取り組んでいます。

